

SUMIDA WORLD

奇想の輸出陶磁器

隅田焼の世界

開催期間 2024年2月9日〔金〕―5月12日〔日〕



公益財団法人

横山美術館

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 【休館日】毎週月曜日(祝・休日の場合開館、翌平日休館)

【入館料】一般1000円(800円)、高・大学生・シニア65歳以上800円(600円)、中学生600円(400円)、小学生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方700円 ※()内は20名以上の団体料金

【後援】愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

奇想の輸出陶磁器 隅田焼の世界



高浮彫母子花瓶
石黒香々
明治時代前期～中期



高浮彫龍花瓶
井上良斎
明治時代前期～中期



螺鈿浮彫菖蒲図壺
石黒香々
明治時代前期～中期



浮彫賢人図花瓶
石黒香々
明治時代前期～中期



浮彫魚花瓶
石黒香々 明治時代前期～中期



高浮彫僧侶水指
原嶋山 明治時代前期～中期

隅田焼は、江戸情緒を感じさせる愛すべき町人や子ども、僧侶や猿などのエキゾチックなモチーフを立体的に造形し、器面に貼り付けた炝器質のやきもの(ストーンウェア)を中心として、盛んに海外へ輸出されました。幕末、瀬戸の初代井上良斎が江戸へ行って製陶を始め、明治8年(1875)には隅田川西岸の橋場町で、二代良斎が瀬戸伝統の登り窯を築きます。瀬戸から蛙目粘土を運んでつくる素地へ自在に操る釉薬で彩色しながら、赤や黒の塗料で仕上げる独特の作風。石黒香々や原嶋山らの職人もいましたが、詳しいことは判っていません。二代良斎は明治33年(1900)にパリ万国博覧会で金牌を受賞し、現地で轆轤の妙技も披露して間もなく逝去。帝室技芸員任命を夢見た人々は、彼の死を惜しんだといひます。

瀬戸伝統の技をもとに新時代の首都で開花した、奇想のスミダ・ワールドへお招きします。

関連イベント

絵付け体験講座「奇想天外! 絵が消える不思議なマグカップ」

マグに注ぐ飲み物の温度によって、描いた絵が「神出鬼没」?!
不思議な絵付けを体験する、楽しいワークショップです。

- 日時: 2024年3月24日(日) 13:30~15:00 ●定員: 20名(要事前申込)
- 申込方法: 2月9日(金)よりお電話にて先着順(一般に先立ち、パスポート会員の先行受付あり)
- 参加費: 一般2,800円(材料費・入館料込み)、パスポート会員1,800円(材料費込み)



イメージ

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

2月17日(土)、3月2日(土)、3月16日(土)、
4月6日(土)、4月20日(土)、5月4日(土)

- 場所: 美術館展示室
- 時間: 13:30より1時間程度
- ※事前申込不要、要入館料



年間パスポート会員募集中!
年会費4,000円(更新3,000円)

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。



公益財団法人
横山美術館

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

[交通のご案内]

名古屋市営地下鉄東山線
「新栄町」駅(1番出口) 徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線
「高岳」駅(3番出口) 徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



次回企画展

海外で愛された薩摩様式のやきもの
「サツマの輝き」展(仮)

2024年5月24日(金) ~
8月25日(日)

100円割引
※本企画展期間中、この割引券を提示する場合は、
入館料が100円引きとなります。
※割引券は2024年5月31日
まで有効です。
※詳細は入館券を
ご確認ください。